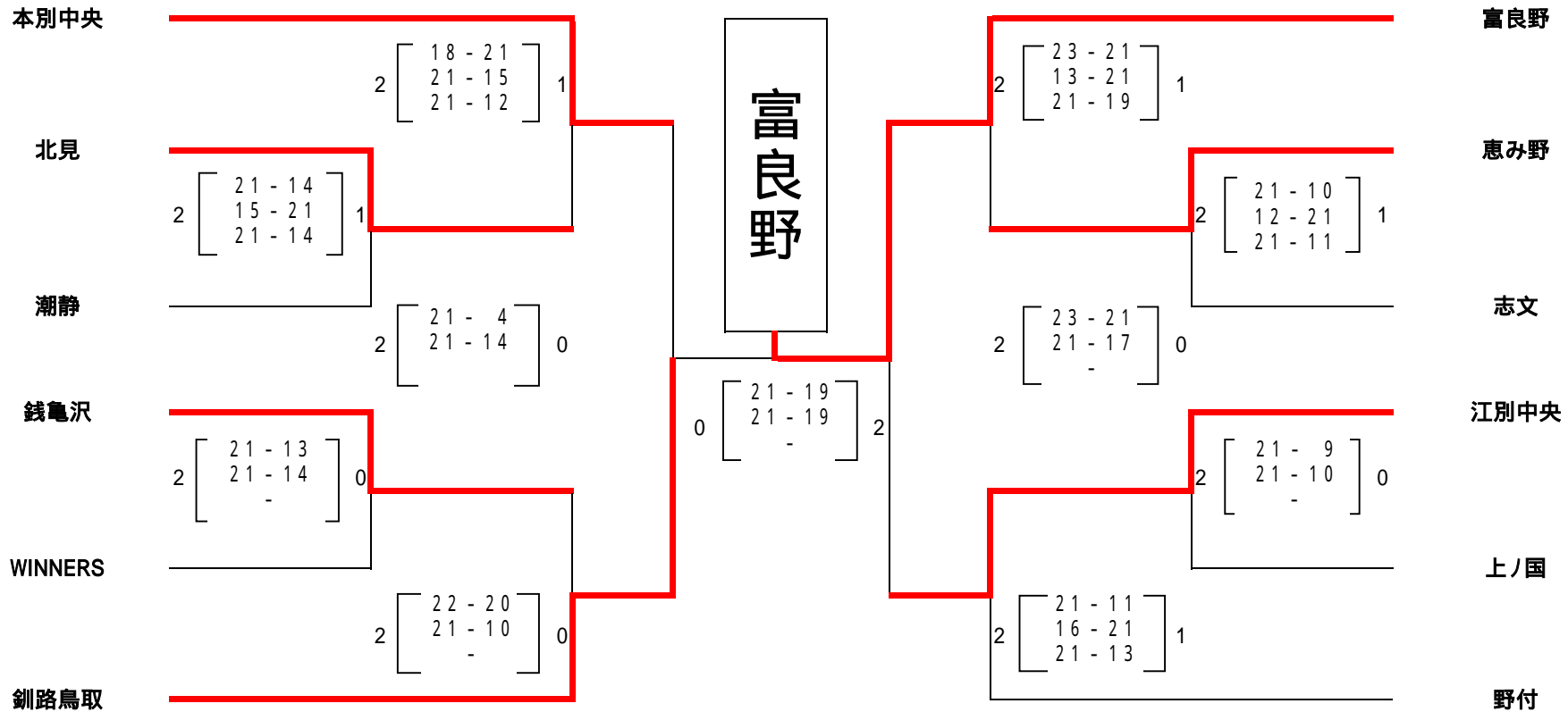


大会名 第7回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会  
 競技成績 女子決勝トーナメント戦  
 期日 平成21年12月5日(土)～6日(日)  
 会場 道立野幌運動公園総合体育館 及び 江別市民体育館

大会委員長 白髭 俊穂  
 競技委員長 森 伸行  
 審判委員長 野村 朋範  
 総務委員長 倉 隆久



【準決勝の戦評】

**釧路鳥取 VS 本別中央**

1セット目、序盤から鳥取の攻撃が冴え渡り、相手チームに流れを渡さず、圧倒的な強さで1セット先取した。2セット目、序盤は本別中央がサービスエースなどもあり1歩リードするが、中盤以降は、鳥取の攻撃力が勝り、逆転して勝利を手にした。

**富良野 VS 江別中央**

1セット目、富良野が4番のアタック、1番のサービスエース、ブロックポイントで5連続得点し、江別を突き放す。その後、互いに点を取り合い、江別6番のアタックで20対20と追いつくが、江別のサブミスなどがあり富良野が先取する。2セット目、江別が6番のアタックなどでリードするが、富良野が4人でブロック体制を作り、江別の攻撃を抑える。そして、富良野が6連続得点をするなどし、前年度優勝チームの江別に快勝する。

【決勝の戦評】

**富良野 VS 釧路鳥取**

1セット目、序盤は両チームともサーブ、レシーブ、スパイクが冴え、一進一退の攻防であった。中盤より釧路鳥取1番澤崎のスパイクが決まり、鳥取がリードした。しかし、終盤、富良野9番和田の好サーブが決まり、富良野が第1セットを先取する。2セット目、序盤から富良野の好レシーブと4番関口、3番品川のサイドのスパイクが決まり、試合をリードする。その後、釧路鳥取のサーブ、ブロックで同点に追いついた。中盤より、両チームとも一進一退の攻防となるが、終盤は、富良野の強弱のある攻撃で勝利を手にした。